

あぐり情報

営農生活課

中村 好仁



長雨からのネギの病害防除

9月に入り秋雨や台風などで雨の日が増えていきます。今回は長雨からのネギの病害防除について説明していきます。

■べと病

・生態、特徴

発生初期は圃場に中心葉だけが黄化した株が坪上に発生します。水により感染するので、降雨、霧の発生後に被害が増えます。

・防除のポイント

降雨の多い時期、湿度が高い圃場は予防を徹底します。発生を確実にしたらずに治療剤を散布する。霧、もやの発生にも注意しましょう。

■さび病

・生態、特徴

春季から秋季まで発生します。橙黄色のやや隆起した小型の斑点が生じます。表皮が破れて、橙黄色の胞子が飛散し、感染が拡大します。

・防除のポイント

あらかじめ薬剤散布をして発生を防ぎます。病勢が急な場合は治療効果が期待できる薬剤を用いましょう。

■黒斑病

・生態、特徴

空気伝染をし、残渣中で生き残り、次の伝染になります。比較的高温、多湿を好み、肥料切れなどで草勢が劣ると多発します。

・防除のポイント

あらかじめ薬剤散布をして発生を防ぎ、適切な肥培管理を行いましょう。

■軟腐病

・生態、特徴

病原菌は土壤中で長く生存します。農作業や害虫の食害痕、台風

などにより傷がついた所へ、降雨時の飛沫とともに飛散し感染します。

・防除のポイント

台風や豪雨後の殺菌剤の散布を徹底する。毎年発生がある圃場については連作を避けるか土寄せ時に予防的に殺菌剤を処理しましょう。

■小菌核腐敗病

・生態、特徴

病原菌は土壤中に残り次作の伝染原になる。葉鞘に侵入したり、菌核や病斑部分に胞子を形成し周辺の株に伝染します。排水不良圃場や多肥栽培で多発します。

・防除のポイント

圃場の排水対策を行い、土壤の過湿状態に注意しましょう。多発が予想される年には、薬剤を株元によくかかるよう予防散布してから土寄せしましょう。

■黒腐菌核病

・生態、特徴

葉先が黄白色に変化し、葉全体が枯れます。根や軟白部が褐色に

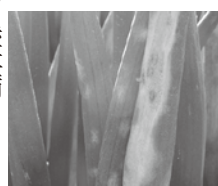
腐敗し黒ゴマ状の小菌核粒が形成されます。年内に感染して春ごろから症状が出ます。菌核は4年以上生き続けます。

・防除のポイント

多発地では輪作を行う。消石灰または石灰窒素を施用して土壤のpHを下げましょう。植え付け前に土壤消毒剤を使用する。残渣を圃場外に持ち出しましょう。

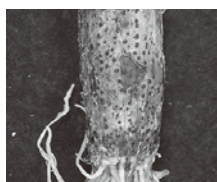
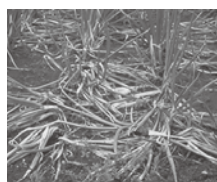
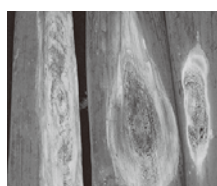
○べと病

○さび病



○黒斑病

○軟腐病



○小菌核腐敗病

○黒腐菌核病



登録農薬一覧 (希釈倍数、使用時期、使用回数)

べと病	Zボルドー (500倍、-、-) アリエッティ水和剤 (800倍、3日前まで、3回以内) ダイナモ顆粒水和剤 (2000倍、3日前まで、4回以内) メジャーフロアブル (2000倍、前日まで、3回以内)
さび病	アフエットフロアブル (2000倍、前日まで、2回以内) アミスター20フロアブル (2000倍、3日前まで、4回以内) メジャーフロアブル (2000倍、前日まで、3回以内) カナメフロアブル (4000~8000倍、前日まで、4回以内)
黒斑病	アフエットフロアブル (2000倍、前日まで、2回以内) ジマンダイセン水和剤 (600倍、14日前まで、3回以内) ダコニール1000 (1000倍、14日前まで、3回以内) ファンタジスタ顆粒水和剤 (3000倍、7日前まで、3回以内)
軟腐病	Zボルドー (500倍、-、-) ジーファイン水和剤 (1000倍、前日まで、-) スターナ水和剤 (2000倍、7日前まで、3回以内) ヨネポン水和剤 (500倍、7日前まで、4回以内)
小菌核 腐敗病	アフエットフロアブル (2000倍、前日まで、2回以内) セイビアーフロアブル (1000倍、前日まで、3回以内) トップジンM水和剤 (1000倍、7日前まで、3回以内) ファンタジスタ顆粒水和剤 (3000倍、7日前まで、3回以内)
黒腐 菌核病	アフエットフロアブル (1000~2000倍、14日前まで、2回以内) スミレックス水和剤 (1000倍、21日前まで、3回以内) セイビアーフロアブル20 (1000倍、前日まで、3回以内) パレード20フロアブル (2000倍、前日まで、3回以内)

※トラクターの免許について※

トラクターは普通自動車運転免許で運転できますが、大型特殊自動車免許が必要なケースがあります。知らずに公道を走行すると無免許運転に該当するので注意が必要です。

大型特殊自動車免許が必要なケースは、作業機を付けたときに横幅が1.7メートルを超えるトラクターです。

作業機をつけていない状態で、車体の大きさが長さ4.7メートル以下、幅1.7メートル以下、高さ2.0メートル以下(安全キャブや安全フレームの高さ2.8メートル以下)で最高速度が15キロ毎時以下のトラクターであれば、小型特殊免許や普通自動車運転免許だけで公道走行は可能です。

公道を走行する
場合これらの事に
注意して走行しま
しょう。

